

八坂地区タウンミーティング(要約)

平成25年10月27日(日曜日)

【市長】 このタウンミーティングですけれども我々が市役所で待っているのではなくて、松山市は旧の北条市、旧中島町合わせまして41地区に分かれるんですけれども、各地区に出向かせていただいてそして各地区でそれぞれお困りの点もあると思いますし課題もあると思いますし、また魅力もあると思います。それをお話をいただいて、できるだけ早く松山市政に反映していきたいという思いから私就任させていただいてから始めさせていただいております。そして松山市内41地区1巡をさせていただきました。聞きっぱなしにはしない、やりっぱなしにはしないというスタンスでやらせていただいております。今日も前回1巡目でいただいたご意見を皆さんにお伝えをさせていただきます。そして今日も皆さんからさまざまお声をいただいて、そしてできることからすぐさま市政に反映していきたいと思っています。また今日はお子さんもいらっしゃってますのでこの八坂の将来に向けての前向きなお話しを、また90分ありますので肩ひじ張ってますとどうしても疲れてしまいますので、肩ひじ張らないぎっくばらんな意見交換ができればと思いますのでどうぞよろしく願います。

【男性】 まちづくりをしております。皆さんせっかくお集まりになって、市長さんも来ておいでる席でございますので、できれば皆さん若いPTAのお母さん方おいでませんか。そういう人は手を挙げてぜひ発言していただきたいと思います。

【小学生】 八坂のいいところはあいさつのよさと元気のよさとけんかをしないことです。だから僕はけんかをしないと思いました。

【市長】 なにかこの八坂地区で困っているとか、こうしてくれないかなみたいなのがありますか。

【小学生】 こんなふうにしてほしいことは、学校のナイター照明をもっと明るくしてほしいです。

【市長】 どうですか？学校のナイター照明って暗く感じますか？

【小学生】 はい、少しだけ。

【市長】 少し暗い。大人の方は学校のナイター照明ご利用になった方は、なんか暗いなと感じるとかありますか？どうでしょうか。

【男性】 センター側の入り口正門のほうがちょっと暗いんでね。

【市長】 なるほど、センター側入り口の正門のほうですね。わかりました。早速照度を測って実際どうなのかを確かめさせていただこうと思います。

す。

【男性】 私、学校教育とまちづくり両方に関係することをお願いしたらと思うんですが、松山市内の4年生あたりで石手川のことを学ぶんです。そのときに必ず出てくるのが足立重信が「鎌投げ」をつくったと。その「鎌投げ」がこの地域にあるんですよね。それからもう一つは大川文蔵が享保年間に大きな洪水があって、松山騒動も起こったりしましたときに改修してそれ以後洪水は起こってないと聞いておるんですが、そのどちらにも関係するものがこの地域にあるわけなんです。「鎌だし」は湯渡橋のちょっと下にあるんですがほとんど見えないんです。市の看板はあるんですがそこへ近づけないし、それからもう一つ大川文蔵のは孫のものらしいというんですが「おかよ地蔵」があります。これは中村橋の土手の下にほこりまみれになってあります。それらをきれいにするのは地域の宝にもなるし、また学校で習ったことも先生方、子どもたちもここと、あそこあたりの公園がまた石手川で一番立派になつると私は思うんですけれどもね、それにあわせていただくと、その景色も四季を通じていいし歴史もあるしで学校も助かるし子どもたちも助かるし先生方も助かるし、地域も自慢になるんじゃないかと思しますので、もしよかったらご考慮お願いできたらと思います。

【市長】 はい、わかりました。小学生の皆さんに伺います。「鎌だし」はどんなものかわかりますか？ちょっと手挙げてくれたんでどんなものか教えてください。立派ですね。

【小学生】 川の流れのスピードなんか威力的なやつを弱めるやつとかするやつです。

【市長】 すごくすごい立派ですよ。よく言えました。これは津田課長ですね。

【生涯学習政策課長】 はい、よくできました。教育委員会生涯学習政策課の津田といいます。今、言われたとおり川の途中にちょこつとでっぱりがあろうかと思うんですが、それが「鎌だし」とか「鎌投げ」と言われると私も昨日勉強させていただきました。それで今お話しにありました「曲出（まげだし）」も残っているところがあると思ひまして、確かに八坂地区は色んな石手川にまつわる先人たちの足跡が残っていると思います。そこで顕彰とか清掃の件でございまして、実はあの場所は愛媛県中予地方局の管理課が管理しております、どういう形で清掃ができますかと問い合わせもこちらから一度しました。そうした中で、お答えとしては治水における支障がなければ草刈りを行うことは予算的な問題で困難な状況にありますというお答えあったんですけれども、過去の事例でい

いまして地域の皆様のご協力をいただければ「愛リバー・サポーター制度」を設けておるということなので、お気軽にまた電話をしてくださいということでした。電話番号が909-8770で、これに限らず色々な形で県民の財産、市民の財産について河川として守っていくという話も中予地方局からもいただいております。こうした先人を顕彰する例として最近では地域の方ももちろんですけれども和田重次郎さんの顕彰とか、もっと過去さかのぼりますと垣生地区鍵谷カナさんは垣生の公民館あたりが中心になってやっておると思うんですけれども、できたらこの機会に石手川を歩いてみて色々な遺跡が残っておりますから学校関係者の方、地域の方々一体となって顕彰に力を入れていただければありがたいと思います。また後ほど詳しいお話はさせていただきますので、よろしく願いいたします。

【市長】 皆さんにお伝えしたいことなんですけれども、例えば道であったら国道だったら大体わかると思うんですけれども、どこが国道でどこが県道でどこが市の道路で皆さんわからないですよ。遠慮せずに言ってください。市に言っていただいたら県道のことでしたら県にお伝えしますし、国道のことでしたら国にお伝えしますし。例えば重信川は国の管理の河川になるんですよ。川の管理も国が管理しとるか県が管理しとるかかわからないですよ。遠慮なく言っていただいたら県のことでしたら県にもまた渡しますし、国でしたら国にもまた言いますし。2ルートで行きたいと思います。というのが、市で直接受けとめた場合は皆さんがどこまでを希望しているのかはよくわかるんですけれども、例えば間接的に行くといやいやそんな大きなこと言よんじやないんじやがね、ここをちょっとこうしてくれただけでええんじやがねっていうこともえらく大きなことにとらえられて、時間がかかることになってもいけませんので、我々からも国とか県に伝えますし、そして皆さんからも直接言っていただくと一番伝わりやすい形になると思います。どこが国の道路でどこが県の道路でどこが市の道路か私道か、どこが管理している川かはなかなかわかりにくいと思いますので遠慮なく言っていただいたらと思います。よろしく願いします。

【小学生】 八坂地区は地域の人との合同運動会があるのでいいと思います。こんなふうにしてほしいのは、公園などの施設や緑をもっと増やしてほしいことです。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本といいます。ご意見ありがとうございます。公園について今松山市では新しい公園は用地買収をして新たにつくるのはなかなか難しいところですが、先ほどお話しがありました石手川のところ、皆さん御存じだと思いますが、石手川緑地公園整備

事業、松山市でどんどん進めて八坂地区でもきれいになっております。また八坂公園、フライブルク庭園があるところもあります。そういったことで公園については、既存の八坂地区には石手川の公園広いところがありますので、散歩やジョギングで遊具も使っていただいで活用していただいでらと思ひます。あと家の生垣や庭木については松山市で「緑のまちづくり奨励金制度」を公園緑地課が窓口でさせていただいでらと思ひますので、ご利用いただいでらと思ひます。以上です。

【市長】 はい、今、公園緑地課のホームページが出てますね。どうぞ皆さんホームページが見られる環境にある方は見ていただいでらと思ひますが、これが市役所のホームページ、トップページになります。そして今、申し上げた公園緑地課を選んでもらうには各課一覧がありますね。緑のことだったらたぶん緑地とかだろなということに公園緑地課、これ選んでいただいでらここで公園緑地課さまざまな業務内容とか出ます。はい、出てましたね。「緑のまちづくり奨励金等交付申請書（庭木）」、皆さんが緑を増やしていこうっていうところにこういうサポート制度、奨励金制度もあります。私が考えていますのは市役所は市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃないといけないと思ひます。皆さんからこんなことしたいんやけど何かサポートしてくれんやろかって言われたら、直接そういう制度はないんですけどこういう制度ならありますよとか、ちょうどそういう制度あるんですよってお伝えすることもできると思ひますんで、どうぞ敷居を高くせずに、我々は皆さんのサポートができればと思ひますので遠慮なく相談していただいでらと思ひます。よろしくお願ひします。

【女性】 先ほどの公園のことですけれども、石手川公園は八坂の児童はたぶん遊びに行ったらいけないっていうことをちょっと伺ったと思ひているんですけど、校区外になるから。だから八坂地区で遊べる公園が、特にボール遊びはたぶんどこもできないので子どもらは学校に来てボール遊びはしているんですけど、たぶんそれ以外にボール遊びできる所はないので、石手川公園はたぶん子どもたちだけでは遊びにいけない状況になってると思ひます。

【市長】 なるほど。このあたりは教育委員会はどうでしょうね。八坂小学校を起点とすると、それぞれの家になっちゃうとみんな全然距離が違ひるので、八坂小学校から最寄の石手川公園となるとどれぐらいの距離、子どもだと自転車とか歩いてどれぐらいの分数で行けますかね。

【女性】 おそらく30秒ぐらい。

【市長】 私、細かい経緯は知らないですけども30秒だったら校区外といわずに子どもたちで遊びに行ってもいいんじゃないかと思ひます

けれども、このあたりはどうでしょうね。これ学校側ともお話をしないといけないかもしれません。

【生涯学習政策課長】 まず大前提におそらくこれあくまで私の見解ですけれども、各学校で児童、小学生においてはこのあたりまでよってというのは決めてます。通学区域もそうですが、ちょうど境界にある方はすぐ目の前に公園がある方もいらっしゃると思います。これはここに限ったことじゃないと思うんですよ。ですからそのあたり一度学校とまた確認をさせていただきたいと思うんですけれども、おそらくそういう境界にあるところに関していいますと、学校ないしはPTAの役員の皆様で、その間の危険性がないかをいつも確認されてるんじゃないかと思うんです。どういうルートで行けば安全なのか。そういうのがある程度確保されてるようでしたら利用も可能だと思うんですけれども、そのあたり学校と私で確認しますので。すみません。

【市長】 そしてボール遊びのできる公園については松本課長どうでしょうか。

【都市政策課長】 松山市ではボール遊びができる公園を最近設置をするようにしております。基本的には皆さん御存じだと思いますが、街区公園、昔児童公園と言った小さな公園についてはボール遊びが今できません。地域からそういったボール遊びがしたいという意見につきましては、公園緑地課とその各公園を管理していただいている地元の管理協力会の方と協議をさせていただいて、公園にもいろいろ大きさがございますので、そういったところで協議をさせていただいて進めておりますので、またそのあたりで協議をさせていただいたらと思います。

【市長】 今、松山市内でボール遊びのできる公園増やしているのが毎年1年に1カ所ぐらいのペースで7個ぐらいは増えてきていますかね。とても大きな公園以外で、もともとはもうボール遊びできませんよっていった公園をボール遊びのできる公園にしていっています。これはちょっと難しいところがあるのが、松山市役所には市長へのわがまちメール制度っていいまして松山市へのご意見やご要望をいただくところがあります。直接、全部私見させていただくんですけれども、難しいのが二通りの意見があるんです。やっぱり子どもたちを中心としてもっともっとボール遊びがしたいですっていう声、これも尊重したいと思います。もう一つある意見が、私は公園のそばに住んでるんですけれども、やっぱり公園の声がにぎやかなんです。それとボールが飛び込んでくるんです。平気で家の中に入ってくるんです。なんとかしてくださいっていう二つの意見があって、これはなかなか難しいところなんです。ですので、地元の人にお話をして協力

を願ってOKをいただけたところからボール遊びのできる公園をつくっている状況です。ちょっと子どもからするとボール遊びしたいなって思うかもしれないんだけど、できるだけそういう声に応えようとして今やっていますのでよろしくをお願いします。

【男性】 さっき緑化の話について出たと思うんですけど、僕スポーツなんか好きなんですけれども、見るのが。例えばサッカーとか野球は欧米では芝生が前提としてあるんですよ。そしてやっぱり日本にも小中学校芝があるところはあんまり少ないもので、やっぱり見た目もきれいですし、そんなに手入れが必要な芝じゃなくっていいんですけど、三つ葉があるとかそんなでもかまんですけれど、なんかそういうんがあったらいいなあと思うんですけども。というのが子どもの情操教育にもなるんじゃないかと思えますし、きれいなものを見ることによって色んな想像力も湧くんじゃないかと思えますし、できたら小中学校、幼稚園もあったらいいんじゃないかなと思ったりもするんですけど。

【市長】 実は芝生化、松山市では今進めているところです。ちょっと見ていただいたらと思うんですが、おっしゃったとおりほかの芝生がほかの草が入っていてもいいじゃないでしょうか。まさにそうなんです。皆さん芝生化というとゴルフ場の立派な芝を想像されるんですが、あれやっちゃうともものすごく手間もかかりますしお金もかかりますし費用もかかります。ですが、松山市が進めている芝生化は私就任させていただいてから初年度が3カ所、2年目が4カ所、3年目が3カ所で今10カ所まで芝生化広がってきました。どこでやっているかというところと保育所、幼稚園、小学校、中学校ですね。三津浜の地域交流センターも芝生化、グラウンドでやっております。この芝生化はおっしゃるとおり大きく五つのメリットがありまして、ちょうど子どもさん来られてますけれども子どものコミュニケーション能力が落ちているって今言われています。それはなぜかというところ、子どもは子どもたちだけで遊ぶときにコミュニケーション能力、自分の気持ちを伝える能力を磨いているそうです。それは、僕はこんな遊びをしたい。自己主張していますね。子どもと子どもですから遊びと遊びがぶつかる、そうすると妥協する調和する工夫をすることで、コミュニケーション能力を磨いているそうです。でも今、昔に比べて公園で遊ぶ子たちが少なくなっているのは事実。それは塾が忙しかったり例えばインターネットやっているほうが楽しいとか、ゲームやっているほうが楽しいとか、子どもたちだけで遊ぶと危ないんじゃないかということで、子どもたちだけで遊ぶ数は少なくなっているんだそうですね。こういう芝生があると芝生の上で子どもたちがのびのびと安全に遊びます。ですのでコミュニケーション能力

が向上する。そして裸足で遊びますから運動能力も向上する。熱中症対策にもなる。小学校のグラウンドなどのご近所に住んでる方は、風が吹いて砂埃がたつということで砂埃対策にもなる。そして一番大きいのは、松山市で進めている芝生化はあえて地域の方と一緒に植えていただきます。これなぜかという、芝生への関心がそこで育つ子どもたちへの愛着、関心につながっていくからです。もともと鳥取方式という芝生化の方法がありまして、ゴルフ場のような立派な芝生じゃなくてティフトンという西洋芝、繁殖力の強い芝を使うんですけれども50センチ間隔ぐらいでみんな植えてもらいます。大体2カ月ぐらいで生えそろいます。6月に植えて夏休み終わるころには生えそろいますけれども、自分らが植えた生き物なので芝生が育つとかな、育ってるのを見るとその園への関心になる。そうするとそこで遊んでいる子どもたちへの関心につながるの、地域で子どもたちを育てる環境が生まれていくんです。これが五つ目のメリット。松山市は芝生化を手挙げ方式で進めています。それはなぜかという、やっぱり地域の方にお世話してもらわないといけないのが一つと、水は確かに要りますので松山市は節水型のまちづくりをしておりますので、ぼんばん水をホースであげるわけにはいきません。プールの水を再利用するとか雨水タンクを設置して雨水を利用できるとか、そういう地域の協力とか水のケアができるところで今芝生化を進めております。ますますこれからも松山では広げていきたいと思っております。三津の地域交流センターで植えたときですけれども、今きれいに芝そろっていますが、ただの土のグラウンドのときよりかは虫が多くやってくるようになったとか、蝶々とかとんぼとかそういうことですね。子どもたちが見ますね。それとやっぱりけがをしにくくなったというのはあります。そういうメリットは確実に生まれてきていますので、広がりを見せているところなんですけれども、こういう芝生化をやっておりますので、またご協力いただけるところはご協力いただけたらと思います。よろしく願いいたします。

【男性】 私、社会福祉協議会の会長をしております。今日はぜひ市長さんよく聞いておいてください。さっきも言われましたけど、学校の空き教室を利用してということで私どもいろいろ講演でも聞いたことあるんです。でもこれも空き教室はありませんと書いてありますね。1,400人からおった学校が今、1割切つとる児童数があっても空き教室はないと教育委員会は言われるんです。だけど、私は高齢者の問題でいきいきサロンを八坂三つやっております。西は保健所から理学療法士で健康教室を開いて非常に好評で月2回というのを毎週、私たちボランティアでやってきたんです。今も健康教室を毎週2回ずつ西サロン、東サロンがやってるんで

す。それ非常に好評でお年寄りが私も入れさせてくれと、私も入れさせてもらえんかと、もういっぱいに入らないんで私も辛いんで、お世話している者はちょっと休んでも入れさせてあげんといかんかなと。ここの八坂は集会所も分館ありません。学校が唯一、今の校長先生が地域の理解があって月2回ほど視聴覚教室を貸していただけるんです。だからせめてここの体育館を月に2回ほど貸していただければ、大勢ここで健康教室をやれば東地区のほうが非常に参加する方がおるんですが、その場合教育委員会は校長先生とだけお話して校長先生がいいと言えれば構わないんですか？教育委員会と市のいろいろ課が違ったら私のほうは違いますとか言われて非常にやりにくいんですが、一つにまとめていただきたいんですが。都合の悪いことは課が違うからあちらに行ってくれ。またあちらに行けばいやこれは向こうの課だとか、私は今まで何回も聞かされてきたんですが、せめて体育館を月に2回くらい貸していただければ健康教室がここでできる。まちづくりも始まっているんで何かしたらしたらいいなと思って私も考えておるんですが、ここを貸していただくとなれば問題があるんです。夏ちょっとクーラーをつけてほしいんです。そして冬暖房をつけて、これはまた教育委員会が順番、そんなのはない、八坂だけつけるわけにはいかんと。こう言うてきっぱり断られるんです。だからこれをモデル地区でもいいですから一つお願いしたんですが。

【生涯学習政策課長】 教育委員会、政策課の津田でございます。いろいろと色んな課でご迷惑をかけて申しわけございませんでした。まず一つ学校の空き校舎の問題でございますけども、先ほど来言っておりますとおり確認しましたところ、ひょっとすると来年は嬉しいことに一クラス1年生増えるかもしれない状況もあるということで現在は余裕教室はないと回答がこの課からきております。ただし、過去余裕教室、現在も使っておる部分がありますけども教育支援センターが所管しております、幼児教育、心身障がい若干あるそういう保護者の皆様を集めての相談の部屋とかそういう使用の仕方は現在しております。実際にどこが最終的に貸してくれる窓口なのかといいますと、これは先ほどお話ありましたとおり学校長に管理運営は全ての学校もお任せしております。ただしこれが学校長だけで判断できないと思われた場合には、学校教育課という課が教育委員会にあり、そこに相談があることもあります。また例えば設備の問題で暗いとか照明が切れたとかは教育委員会に学習施設課がありまして、学校長からここが切れた、ここが暗いという相談があったら予算に応じて対応はしております。最後に冷房・暖房の件でございますが、これはこれだけの建物を空調をつけるとなりますと、私だけの判断ではとてもできませんので持

ち帰らせていただいたらと思います。すみません。

【男性】 前向きにお願いします。

【市長】 ちょっと私からお伺いしたいのは、それはうちの課じゃないんですって回答をしたのはいつぐらい前のことでしょうか。ちょっと教えていただけますか？今後の参考のために。

【男性】 児童クラブをつくる時に色んな課に行ったんです。八坂は児童が少ない、いろいろ福祉行ったり教育に行ったり7年前ぐらいです。いろいろはっきりした何は覚えてないですけど、私も市役所に行ってよく言いたいことは言ってるんですが、なかなか通りません。よろしくお願いします。

【市長】 ありがとうございます。今、逆に私からお伺いをしたのはよく感じていると思うんですけども、特に縦割りなんて言うのはだめですとよく申し上げているところで、先ほど国道とか市道とか県道の話もしましたが、皆様わからないですよ。でも、市役所一体なんですよ。何課だろうが市役所一体なんですよ。そういう縦割りとかじゃなくて聞いた人間がしっかり動くように指示はしております。そしてそのあらわれなのが、実は松山市役所は会議室を外のオフィスビルに借りているぐらいスペースは確かに少ないんです。でも松山市役所には子育て中の方も来られる、例えばお子さんを抱っこした方、お子さんの手を引いた方も来られます。障がいのある方も市役所には来られます。お年を召された人生の先輩方も来られます。そういう方々にそこは窓口2階なんで2階行ってください、それは3階なんで3階行ってください、それは4階なんで4階行ってください、それは不親切だと思いましたので、去年の7月2日の月曜日に別館の1階に福祉総合窓口をつくりました。福祉にかかわる105の業務がそこで一括して受けられるところです。これはできるだけ親切に皆さんをできるだけ動かさない我々から出向いて行こうという思いと、そして大体役所は4月1日からスタート、それは予算のことがありますからどうしてもそうなりがちなんですけども、7月2日、年度の途中からできることから早くというスタンスで今、動いております。もちろん3,300~400人職員おりますので、行き届かないところもあると思うんですけども、そういう事例を見つけられたら遠慮なく先ほどの市長へのわがまちメールで言っていただいて、私からこういう例を聞いたよ、どうなってるのみたいな、また再チェックもできますので、そういうことがありましたら遠慮なく言ってもらったらと思います。今、できるだけ親切に、できることから早くという姿勢で望んでおりますので、またこれからもよろしく願いいたします。

【男性】 まちづくり協議会です。先ほどもしゃべらせてもらいましたが、今の件につきまして私も応援したいと思います。まちづくりとして。いろいろまちづくりで動いてみまして八坂地区は本庁地区でございます。よその地区は支所がでございます。支所の会議室等使用して使っているような情報も入っております。その点、この本庁地区では公民館、特に八坂は公民館が一つあるだけです。ほかに使用する部屋等がございません。そういうこともございまして民生委員にしても今後まちづくりをするにしても、そういうことが一つの欠点になるのではないかと、そんなことを一番最初に感じました。それを何とか本庁地区で一番最初に、八坂地区の皆さん本当に熱心です。まちづくりを本当にやってくれということで、僕も一生懸命立ち上げてやっております。そういう関係もございまして、できれば施設、これは高齢者の人が集まって楽しく一日過ごせるような。今から3～4年前のことですけど湯渡で高齢者の方が3人ぐらい続けて孤独死されたこともございます。そういうこともございまして、この八坂地区は特に高齢化が進んでおります。会長が言われたそういう施設が全然この八坂にはございません。青少年センターもせっかくあることとございますけど、これも使えません。そういうこともございまして私たちまちづくりが設立して認可もらいました。そういうことから青少年センターも市役所へ行って何とか使用ができるようにしてもらったらと思ったり、今、考えておるところとございますけど、そういうことは市でもっとよく考えていただきたいと思えます。本庁地区で最初にまちづくりが認可されたのは八坂と思えます。八坂の市民はそういうことで皆さん本当に皆で頑張ってくつていこうという気持ちがあるのではないかとと思えます。それをないようにしてしまつたら、これは僕はいかんとと思えます。そういうことからして、できるだけよその地区の見本にもなるように八坂は応援していただきたいと思えます。

【市民部長】 市民部の吉野と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。いつもまちづくりには大変お世話になっております。まちづくり協議会の今現在進んでいる認定まちづくり協議会とございまして、誠に皆さんには大変お世話になっております。まちづくり協議会のつくつた基の考え方もそうすけども、いろいろな町内にあります各種団体でつくつてそこを取りまとめている下支えしている協議会とございますので、そこでの会長さんの御苦勞は大変だと思えます。それもあわせてこの場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。それで施設とございますが、なかなか自由に使える施設がないということとございまして、それにつきまして再度私ども帰りまして、今使える市の施設がどういふ施設があつてこの八坂校

区内にどういう施設があってどういうふうにしたら皆さんにご利用していただくことができるか、誠に申しわけございませんがこの場では即答できませんので、帰って再度考えさせていただいたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 私、北八坂の東の広報委員をしております。前々から疑問を感じておりましたのは八坂の遊園地ですね。公民館の東側にある。4分の1をフライブルク公園ということで垣根でくくってしまっているものだから中に入れんのですね。あれをいっそのことのけたほうがちょっとは広うに子供らが使えるんじゃないかと思うんですがいかかでしょうか。そのフライブルク公園というのがどうしても必要なんでしょうか。

【都市政策課長】 皆さん御存じのとおり八坂公園の中にフライブルク庭園、これは御存じのとおり松山市とフライブルク市が姉妹都市になっております。その縁で松山市の日本の庭園をフライブルクにつくり、フライブルクの関係のものを松山市八坂公園につくっているということでございます。できましたらそういう姉妹都市、友好を結んでいるところの関係のものでございますので残していただきたいということと、実は昨日も行ってきて非常にきれいにさせていただいて地元の方には感謝申し上げますが、できれば残していただいてほかの別のスペースで利用活用していただけたらと思います。ご理解いただけたらと思います。

【市長】 私はじっくり歩いて周りを歩いたことがないので車で通ることは多々あるんですけども、やっぱり柵はしてあるんですか。

【都市政策課長】 薬草のような色んな草を植えておまして、その由来も看板で提示をしております。その近くに色んな遊具もあるところがございます。ただ、おっしゃるとおり面積的に広いか狭いかというと全体の面積はそれほど広くないというところもあります。

【市長】 私もちょうと帰りにちゃんと歩いて見に行ってみようと思います。

【小学生】 こんなふうにしてほしいことは八坂小学校は私のおばあちゃんのころには4クラスか5クラスで、私のお母さんのころには2クラスあったそうです。でも今はどの学年も1クラスしかないので八坂校区がもう少し広がって同学年の友達ももっとたくさんできたらいいなと思います。

【市長】 校区が広がるとお友達も増えるんじゃないか。なるほどお子どもはそう思うのはわかりますね。これは津田課長からお願いします。

【生涯学習政策課長】 私もその部分一部理解できます。実は先般、難波小学校に行ってきたんですけども、全体で50人ぐらいのこじんまりした学校です。

【市長】 旧の北条市にある学校ですね。

【生涯学習政策課長】 子どもたちが元気よくみんながあいさつをしてくれます。学年関係なく。多い学校にも行ったことがあります。800人くらいいます。これは本当に川の流れのように行進してるような形で子どもたちが昼休みでも歩いています。多いのがいいのか少ないのがいいのかいろいろありますけれども、確かにおっしゃるとおり過去で4クラスぐらい八坂小学校あったこともあると聞いてます。ここで今、大体1クラスずつになってますけども先ほどもちょっと言いましたが、子どもたちが生まれる出生率にもよるんですけれども、みんなが大きくなって子どもを早くたくさん産んでくれたらこの地域もクラスが増えると思いますので、今すぐに解決できるのは確かに言ったとおり通学区、学校の校区を変えることなんですけれどもこれはお父さんお母さん、PTAの皆様と学校の関係者の方で一度協議をしないと、なかなかあそこの町内をこちらの八坂に来てよとは簡単に言えないので持ち帰らせてください。

【市長】 何となくわかったかな？大人の話はちょっと難しいかもしれないんですけど、ほかの地区でもやっぱり同じように考える人はいます。児童数が減っているところは校区を広げてくれたらなあというのはあるんですけど、なかなか難しいのはここに住んでいた人がもともとA小学校に行ってたけれど来年からはB小学校に行ってくださいというずっとA小学校に愛着を持っていた人が「僕はA小学校の卒業生です。」って言った大人の人たちが「おお、来年からB小学校かあ。」ってなったりとか、大体小学校の校区と地区の校区が一緒になっているところが結構多いので、地区も変えないといけないとか集まり方も変えないといけないとかあって、一つ変えると色んなことを変えなくちゃいけなかったりしてなかなか難しいところがあるんですよ。今、八坂小学校は校区の弾力化をしてるんですよ。今、何人ぐらい弾力化でほかの地区から入って来られてるんですか。

【生涯学習政策課長】 ほかの地区から来られてるお子さんの数でいいますと22名の方が来られています。

【市長】 松山市内ではどこの学校が通学区の弾力化をしていますかね。

【生涯学習政策課長】 大体中心部の学校、例えば番町、東雲は校区をある程度はずして希望者を抽選のケースもありますけれども募っている状況です。

【市長】 八坂もそうですね。ほかの校区から来てもらって構わないですよという形にしています。いったん持ち帰ってっていう形にさせてください。ご質問ありがとうございました。私からちょっと逆にお伺いをしたいので

すが、最初のタウンミーティングで八坂の方々はホタルをやってらっしゃるといふのを聞いて、それはいいことですね、ちょっとホタルを見せてくださいというて翌年になりましたかね、ホタル祭りに来させていただいた。本当お世話も大変だしホタルがいる場所を清掃したりとかお世話をされるのは大変なんじゃないかなあと思うんですけども、その辺のホタルのお世話のことで、こんなにお城が近くに見えるところでホタルが飛ぶようなところなかなかないと思いますので、大変なところもあると思うんですけどもホタルのことで何かお困りの点とかないでしょうか。何かありましたらホタルにかかわらず言っていただいたらと思うんですけどもどうでしょうか。どうぞ遠慮なくおっしゃってください。それこそ言っていただいたらこういうやり方もありますよとか別の方法とかもお伝えすることができるかもしれません。

【男性】 ホタルはかなりずっと前からお世話をしとるんですけど、草刈りとあそこにすぐ反対側に大きい木があるんですよ。それがどうしても石垣が下にあってちょっと崩れとるところがあるんですよ。それがちょっと危ないなと思うこともあるんですけどね。草刈って慣れとる人はわかるからいいんですけど、慣れん人がそういうところ入ったりしたら下向いて落ちたりする人もおるんでそういうところちょっと見直してもらったらなあと思うんですけども。

【市長】 ホタルの堤防あたりにあるんですかね、青木課長お願いします。

【下水道政策課長】 下水道部下水道政策課の青木と申します。前回もこのお話を聞きまして本当にいい環境のところだということで私も前回現地を見させていただきました。そこはちょうど県の管理区域になりますので現実的には県が所管をしておりますけれども、我々の「愛リバー・サポーター制度」もありますし、ホタルのクラブそのものが会員登録されておるといふこともお聞きしております。ですけど、あそこかなり深いので危険なことは皆様でやっていただくのは非常に難しいと思いますので、そういう危険なところについては市にどしどし言っていただいたらよろしいかと思います。石垣の件は現地を早速見させてもらおうということで連絡をさせていただきたいと思っておりますので、そのときはまたよろしくお願いいたします。

【市長】 「愛リバー・サポーター制度」があつて、「リバー」は「川」ですね。「愛」は「愛する」です。川を愛する人のサポーター制度があつて、それに入っていると具体的にはどういういいことがありますか、お子さんにもわかりやすいように。

【下水道政策課長】 当然いろいろ川を掃除するときには草刈りとか泥を

除けるとか色んなことをしてきれいにさせていただくということがありますけれども、そういうときに草を刈る草刈機、その替刃を県が助成をするとか、そして刈った草の処理は市が担ってやるということで、県とか市とかいう垣根を越えて色んな環境美化について地元の方と一緒に協力をしていくという制度でございますので、ご意見がありましたらいろいろまた伝えていただきたいと思います。と思っています。

【市長】 利用されたこと、連携できてますか？

【女性】 P T Aも一緒にお手伝いさせていただいてホタルさせていたでいるんですが、「愛リバー」は入らせていただいて年2回お掃除するのが条件になってるんですが、たぶん機材を貸してもらったりとか手袋をいただいたりとかそういったのはしてるんですが、後の手伝いに来てくださるのは見に来られるのは来てらっしゃるんですが、してもらったこととかはほとんど地域の方が本当危ないところで草刈りされたりという感じです。

【下水道政策課長】 そうですか。ただ県とか市とか言わずに危険なところは地域の方だけでは難しいところもあると思いますので、そのあたりちょっとあまり危険なことは難しいんですよという声があるようでしたら、そのあたりは私から県へちゃんと伝えたいと思いますのでよろしくお願いします。

【市長】 あと草だけじゃなくてやっぱり当然ごみ、今時ですから缶とかペットボトルとか出てくると思うんですけれども、そういうのはどうされているんですか。

【男性】 ホタル部です。確かに「愛リバー・サポーター制度」には入っているんですけど、いただけるのは手袋とごみ袋ぐらいです。私はホタル部で自腹で草刈機なんか買ってます。替刃ももらったことありません。草刈りのときに北側の土手がなかなか険しいので、大きい木も生えているのでなかなか掃除ができないんですよ。あれを市か県かどちらかでやってもらえたら。そして個人の家が近くにありますが庭もありますし私らで勝手に切っていいものなのかどうかもちよつと確認もしたいんですけど。

【下水道政策課長】 その河川そのものは県の管理になりますけれども、水そのものは農業用水の取水も関係しておりますので愛媛県と土地改良区の方、そこら全体的なお話を一回をせないかんと思いますので、危険なところの草刈りということで一回お話をさせていただくということで、この場ではちょっと具体的なことはお答えできませんけれども持ち帰らせていただいたらと思います。

【市長】 それで先ほどの個別具体的に申しわけないですけれども、

缶とかペットボトルの回収はどんなにされとる、もう回収したら自分のところが持って帰るような感じ？市が取りには来よるんですか？

【男性】 掃除する場合、市に連絡してごみは別の置き場所がありますのでそこへ置いてください、後ほど取りに来ますということで市から来ていただいています。

【市長】 ちょっとでもいい形にできればと思いますので。ほかどうでしょうか。

【女性】 私は唐人町2丁目東の町内会長をやっております。私は職業を言うと宣伝になった申しわけないんですけど料理教室をやっております。それで、割とうちに来てくださってるお嬢さんたちが段々毎年歳を重ねます。それでブライダル、少子化でもっと子どもが欲しいっていう話があったんですけど、市がやっておられるブライダルの方法ですかね、それが人気投票みたいな感じでうちの生徒さんも参加されて2万円ぐらい、値段のことは細かいことまではわからないんですけど、なんかあんまり真剣じゃないというような話を聞くんですけども、それが本当にその人たち一人一人にとっていい出会いが得られるサポートをしていただけたら、また結婚される方もどんどん増えてくるんじゃないか。今ごろコミュニケーションが、なかなか出会い系サイトみたいなんで、あんな怖いですよ。殺されてもいけませんからね。そんなあたりでやっぱりもうちょっと手を差し伸べていただいてそういうなかなかめぐり合いの少ない方、そういう人たちに温かい手を差し伸べていただいたらと思ったりするんですけど、皆さん子供さんいらっしやたりお孫さんがいっぱいいらっしやる方ばかり今日集まっていらっしやいますが、うちはまだ30代40代の半ばぐらいの方が一生懸命すごくいい方なんですけど出会いがないんですね。だからちょっと年齢的にちょっと大変だなっていうところがあるんですけど結婚して子どももできる可能性もあるし、だから早くそういうのを上手にもっと手広くやっていただきたい、それが一点なんです。もう一点構いませんか。ごみの問題があるんです。隠しカメラをちょっと貸していただけたらと思います。もうほんとに無断で置くんですよ。私なんか毎週ごみを片付けに行きよる、夜。ほんとに苦労しているんです町内会長さんは。以上。

【市長】 はい、わかりました。婚活のことですけど、おそらくですけど私が知る限り市では直接の婚活はやってないです。実は同じ行政がやっていることなんですけども、松山市だけが結婚、婚活困っているわけではないんで全県ですよ。こういうのは広域行政っていいまして愛媛県全体が皆各市町困っているんで全体でやっています。愛媛県が法人会という組織に委託をしてやっているのが愛媛県での婚活だと思います。また全く民間

で別に婚活やっているところもありますよね。なので市では今、直接婚活はやっていない。愛媛県がやっているところと連携してやっている状況だと思います。特に中島ですとか島しょ部、農業地帯などではお嫁さん探し、お婿さん探し困っているところもありますので、我々もちょっと婚活はやらなければいけないなというのは思っているところで施策をいろいろやっているところです。またごみのことについては市民部長からお答えいたします。

【市民部長】 お世話になります。市民部の吉野です。どうぞよろしくお願いたします。ごみの問題ですけど環境部の清掃課で直接的なご協力はできないにしても立て看板をここでは地区以外の人は捨てないようにとか、こういうのをつくってお渡しすることができるように聞いております。

【市長】 ちょうど今日勉強で職員来ておりますので、環境担当の者がちょっとお答えをいたします。

【環境政策課長】 失礼します。環境部の環境政策課の大西といいます。ごみのことなんですけど、別のところからステーションに持ってくるということはよく清掃課もお聞きしております。この後で場所を教えていただいたら、その場所も行きましてどういう状況になっているか把握させていただいて、清掃課と一緒に対応して行きたいと思うんですけど、先ほど示しました看板は清掃課でつくっております。そして一番人気があるとか効果があるのは目をつけてる分です。あれを張れるところがありましたら張っていただいたら効果があると聞いております。今年ですけど正岡であのシールを張った効果があったんで好評いただいておりますので、いろいろと頑張っておりますので今後ともよろしくお願いたします。

【男性】 前回のタウンミーティングのときに八坂公民館にエレベーターをつけてほしいということと、トイレの改修工事についてお願いしまして、先ほど市長さんからお話があったとおりですが、トイレの改修工事につきましては早速に実施いただきまして、昨年度中に完成しましてありがとうございました。その結果地域の皆さんに大変よろこんでいただいております。今回は再度エレベーターの設置についてお願いたします。いろいろな事情があつて困難とは思いますがあえてお願いたします。当地区はご案内のように高齢化が進み高齢者が多く八坂公民館の大会議室は3階にあります。そこで各種の行事が行われております。つい数年前までは公民館活動の中心になっておられた方が足腰が悪くて3階まで一気に上がることができず、途中で休んでいる状態をよく見かけます。そういう状態を見ると大変心苦しく思います。これらの方が楽しく公民館活動の参加してもらうためには、どうしてもエレベーターが必要なのでご無理言いますがよろ

しくお願いします。

【生涯学習政策課長】 日ごろから館長にはお世話になっております。繰り返しになるんですけども、まずエレベーターをつける場合には当然そのスペースの問題があります。よくやっておりますのが後づけといいまして外にゴンドラというか箱だけつけるやり方もあります。ある程度の幅・奥行がもちろん要ります。中へつける場合は当然中の解体してどこかの部分をつぶしていく形になろうかと思えます。学習施設課とも先般協議をいたしましてエレベーターを設置するスペースの確保が現状ではやはり今の公民館の建物ではできないということで、引き続き回答といたしましては厳しいというご理解いただきたいと思えます。こういう問題でもし可能性があるとすれば建替えという答えもあろうかと思えますが、教育委員会では現在御存じのとおり耐震、安心安全を最優先しておりましてこの学校もやりますけども、平成29年ぐらいまでに全ての小中学校、全ての公民館本館を耐震化したいと、そちらに大体110億ぐらい今後かかる想定に見込まれております。そういうところでもありますから建替えもすぐには今の段階ではすぐにお約束できないということでご理解いただきたいと思えます。

【市長】 お子さんにもできるだけわかりやすく。昭和56年をここが基準といいたいまいしょうか、昭和56年に新しい耐震基準ができてるんですけど昭和56年の後の建物は基本的に地震にも強い耐震性能があるんですね。昭和56年以前のものだと耐震性を有していない、強い地震が来たら耐えられないものもありますので、そういうものはやはり公民館は多くの人が集まる場所なので、また学校、体育館避難場所にもなりますから、そういうところはできるだけ早くやらなければいけないということで今、学校とか公民館の耐震化、また消防団のポンプ蔵置所が壊れて消防団の車が出れなかったらいかんということでそういったところを優先して今耐震化を進めています。八坂公民館も耐震性がないということだったらこの機会に改めて新しい建物にしまししょう、エレベーターも設置しまししょうっていう形になってたと思うんですけど、八坂公民館は耐震性能がありますのでちょっと後回しということになってしまいます。実は松山市の財政状況なんですけども、どこの地方自治体もそうなんですけれども、今、国自体が1千兆円の借金を抱えております。国から地方に地方交付税交付金とか国庫支出金という形でお金が回って来るんですけども、仕送りをしてくれる親といいたいまいしょうか、そこがもう大きな借金を抱えているので、これから地方にお金が配分されるお金が増えるとはとても考えにくいんです。私もこうやってタウンミーティングさせていただいて皆さんから要望いただきま

す。市長これやってくれまいか、市長これやってくれまいか、市長あれやってくれまいか、私の人気取りだけから考えるとわかりました、それやりましょう、これやりましょう、あれやりましょうって言ったほうが私も人間ですからそりゃ楽です。でもそれをやってしまうと将来の子どもたち、また孫たちの次の世代にツケを残してしまうことになってしまいます。物を建てるはずで建てる時のお金、そして維持管理をするお金が必要になりますから建てたら建てただけでは済まないんです。ですので、大変心苦しいんですけども、ちょっと全ては同時にはできなくて優先順位をつけながらやっているのが現状でございます。今、松山外環状線をつくってますけどもあまりにも松山インターチェンジと空港や港の間が時間がかかり過ぎる。もう全国でも指折りの時間のかかり過ぎるところが松山なんです。またJRの松山駅も今治駅や東予の駅のほうが大分綺麗な駅の状態です。県庁所在地の駅としてはとてもとても。また、コミュニティセンターも大分古くなってきましたけど、コミュニティセンターをどうするか。今、市民会館も耐震化をしているところです。これから限られた予算の中で何をして行くか。お金がないから何もしないんじゃないじゃなくて、皆さんの声をしっかりと聞かせていただいて優先順位、まず何かからすべきかを今、お声を聞かせていただいているところです。ほんとに心苦しいんですけどもたちまち今八坂公民館のエレベーターの設置はできないという状況ですので、でもこれから技術革新の中で今まではできなかったけどもこれからちょっと新しい技術が出てきたらちょっとこれならできるかもしれんとか、そういうのにも常にアンテナを張りながら知恵と工夫でさまざま乗り切っていきたいと思っておりますので、またご理解のほどよろしく申し上げます。

【男性】 建物の話で申しわけないんですけど城東支署に今、城東分団が同居してるわけです。その支署がないのは松山市で八坂城東分団だけなんです。これ湊町に変わったときに私ちょうど分団長してまして、そのお話はあったんです。その城東支署を詰所をどこかつくるといって、結局どこにも土地も高い単独の詰所を街中でつくるのは何千万もかかるとかいう話で、今詰所で一部屋でもう十何年おるわけです。この話は以後詰所を独立するような形は考えておりますか。

【消防局総務課長】 消防局総務課長の中矢でございます。城東分団が今城東支署と一緒におられるということで、城東支署を建てかえた際に先ほどお話ありましたようにご同意をいただいて、城東支署に今一緒に車を置かせていただいて待機室を設けさせていただいております。ご指摘のとおり独自の分団の蔵置所を持たないのは城東分団だけになっておりますので、先ほど市長が申しましたように各分団の耐震化計画を進めておりま

して、その耐震化計画は基本的には地区内の蔵置所を統合することを前提にやっているんですけれども、その際に今までは既存の土地を確保していただいて、そこで蔵置所を建設するケースが多かったんですけども新たに松山市が用地購入して蔵置所を今後建設していくケースも出てくると考えておりますので、そのようなことも当然検討していく必要がありますので、城東分団につきましてもこういったご意見をいただいたということを私も持ち帰らせていただいて、消防団担当とまた今後の検討材料にさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【市長】 申しわけなく思うのが、私がどうしても財政の事言いましたものですから建物の事で申し訳ないんですけどって逆に気遣わせてしまって申しわけないんですけども、どうぞ皆さん遠慮なく言ってください。やはり皆さんからお声をいただくことでこういうふうにしてもらいたいんだなと把握できますので、やはり皆さんの声にしっかりと傾けてそして政策判断していきたいと思っておりますのでこれからも遠慮なく言っていただきたらと思っております。申し上げたように、それだったらこういうサポート制度があるんですよとか、直接は無いですけど別のやり方でこういうサポート制度もありますからということもお伝えすることができますので、冒頭申し上げたように市役所の敷居を高くするんじゃなくて遠慮なく言っていただきたらと思っております。また、縦割りとか動きがよくない者がおりましたら私からまたしっかりと指示指導していきたいと思っておりますので遠慮なくそういう場合には言っていただきたらと思っております。最後になりましたけれども今日ほんと長時間にわたりましてありがとうございました。最初は手が挙がらなかったものですからこのままご意見が出なかったらどうしようなんて思ってたんですけども、皆さんほんと多くのご意見いただきましてありがとうございました。話せば理解、話さなければ誤解だと思っております。やはりこのように皆さんと意見交換をすることによって市はこう思ってるんですけど、いやいや地元としてはこう思ってるんだ。意見交換をしながらそれぞれ八坂地区は八坂地区でよりよいまちにして行きたいと思っておりますし、その41の集合体である松山市を笑顔あふれるまちにして行きたいと思っておりますので、これからもどうぞ皆さんご協力のほどよろしくお願いいたします。今日はほんとにありがとうございました。

— 了 —